

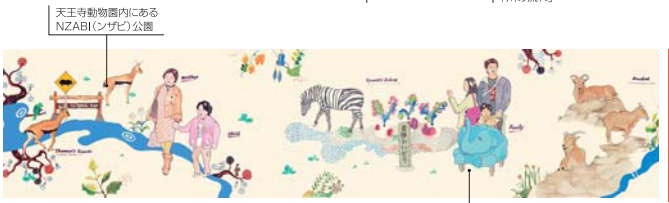
～2羽の鳥が案内する阿倍野・天王寺の物語～

200mにわたる絵巻に登場するモチーフを抜粋してご紹介いたします。地図を片手に、絵巻に描かれた場所をぜひ訪れてみてください！



阿倍王子神社の境内に祀られている八咫鳥(やたがらす)像 四天王寺「聖霊会」の楽人 正願寺境内の兼好法師薬打石 陶器と仏頭 (大阪市立美術館所蔵) 大阪市立美術館

◀北側▶ 阿倍王子神社の八咫鳥(やたがらす)像や大阪市立美術館等の所蔵品、吉田兼好ゆかりの石碑などが描かれた歴史、文化、美術ゾーン。四天王寺「聖霊会(しょうりょうえ)」の楽人が華やかな彩りを添えています。



天王寺動物園内にあるNZABI(ンザビ)公園

◀西側①▶ 天王寺公園内にある人気スポット「NZABI公園」を抜いた動物園ゾーン。アフリカ サバンナを遠体験した若いカップルや子供たちの笑顔があふれています。



◀南側▶ 地元に着目取材して描かれた商店街の看板、街で暮らす人々、のれん、通天閣の他、現在の近鉄南大阪線を走っていたレトロで懐かしい穿田風のデザインが登場する阿倍野情緒溢れるゾーン。描かれている看板やのれんは地元商店街に実在するものばかり。「これ看板!?!」なんていうかわりユニークな形をしたものもあります。



村野藤高氏(1891-1984)がデザインした近鉄百貨店旧館外壁レリーフ彫刻電車と鳥

天王寺動物園にある象のパギー

四天王寺

天王寺動物園内の観音子マシーン

松出屋の石碑

四天王寺「聖霊会」楽人

◀西側②▶ 近鉄百貨店を彩っていたレリーフから2羽の鳥が飛び立ち、街の新旧さまざまな場所を訪れます。まさに現代と歴史がダイナミックに融合するゾーンです。

阿倍野散策マップ



- 1 四天王寺**
推古天皇元年(593年)に聖徳太子によって建立が開始され、聖徳太子建立七大寺のひとつとされています。
- 2 大阪市立美術館(天王寺公園内)**
敷地は住友家本邸のあった場所で、美術館の建設を目的に庭園「慶沢園」とともに大阪市に寄贈され、1936年に開館しました。
- 3 天王寺動物園(天王寺公園内)**
1915年(大正4年)1月1日に、日本で3番目の動物園として開園。現在約11ヘクタールの園内に、約230種1,000頭の動物が飼育されています。
- 4 兼好法師隠棲庵跡**
『徒然草』の著者として有名な吉田兼好は、鎌倉時代末期から南北朝時代にかけの歌人、随筆家です。摂津八十八ヶ所第32番霊場「正願寺」境内に、「兼好法師の薬打石」と「兼好法師隠棲庵跡」の碑が残っています。
- 5 阿倍王子神社**
かつては阿倍野王子(あべのおうじ)と呼ばれた王子社で、熊野九十九王子のひとつとされています。大阪府内の九十九王子社で唯一現存しています。

★クイズの答え: ①「ドン・キホーテとサンチョ」のいる場所は ⑤阿倍野図書館、②「給馬」が納められている所は ④四天王寺・布袋堂